

通 告 質 問 一 覧 表

(平成30年6月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	1	12 番 小 林 重 樹	<p>1 観光行政について</p> <p>(1) 昨年3月に高梁商工会議所より高梁市の観光に関する提言が出され、ハード整備5項目、ソフト整備5項目とさまざまな提案がなされたが、1年経過した今、取り組み中の事業はどのくらいあるのか</p> <p>(2) 2020年にはインバウンド4,000万人時代を迎えると言われる、岡山県にも多数のインバウンド観光客が来られていると思われる。また、LCCの利用により、特に台湾からの旅行者がふえていると聞いているが、市はその実数、実態を把握しているのか</p> <p>(3) 今後、本市が取り組むインバウンド観光について、どのような施策を計画しているのか</p> <p>2 高梁市行財政改革プランについて</p> <p>(1) 新たな財源の確保について</p> <p>① 新たな財源の確保の中で、ふるさと納税の拡充が上がっているが、寄附額の増加を目指し、取り組んでいる事柄は何か。また、今までの実績はどうか</p> <p>② 市外在住の市職員によるふるさと納税寄附がふえていると聞くが、その実態と職員の認識について問う</p> <p>(2) 人材育成と職員の意識改革について</p> <p>① 総務省はかねてより、自治体に対して人事評価制度の導入を促している。地方公務員法改正の目的は人事評価の全自治体への本格的な導入を促進するためと言われていたが、本市において人事評価制度の取り組みはなされているのか</p> <p>② 職員の能力開発、意識改革、職場の風通しの良さにつながるためのヒアリングは実施しているのか</p> <p>③ 定年後の職員の働き方及び対処について、定年を向かえた職員が希望すれば再任用される国が推進する制度があるが、それはどのようなものか</p> <p>3 人口減少問題と持続可能な自治体運営について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	1	12 番 小 林 重 樹	(1) 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）によると、本市の人口は、2040 年に約 20,000 人になると公表されている。市長は行政努力により 2040 年の人口を約 25,000 人で維持したいとしているが、それに向け、今から取り組むべき施策は具体的にどのようなものがあるのか
2	2	4 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁市図書館に関して</p> <p>(1) CCCが行ったアンケート結果について、市としてはどのように分析しているのか</p> <p>(2) CCCが行ったアンケート以外に、市として独自に全市的なアンケートを行っているのか</p> <p>(3) CCCのアンケート結果を見ると、高梁市民の大多数が高梁市図書館に満足しているかのような調査結果だが、市はこれを高梁市民全体の意見として捉えているのか</p> <p>① 5月に発行された高梁市議会だよりの読者から、3階のトイレ増設や静かな読書環境について改善を求める意見が寄せられている。そのような意見を市としてどのように捉えるのか</p> <p>(4) 平成 29 年 12 月議会で 4 階のキッズフロアの有効活用について質問をしたが、その後検討はされたのか</p> <p>2 不適切な事務処理に対する再発防止策に関して</p> <p>(1) 今回の事件で工事関係業者に多大な迷惑をかけたということだが、長年にわたり工事代金の請求がなかったことの原因を市としてどのように考えているのか</p> <p>(2) 過年度災害復旧工事等に係る未払金調査特別委員会の報告の中では、慢性的な予算不足があり、現場職員には予算が通らないのではとの先入観があったとのことだが、今後こうした大幅な予算不足は続くのか</p> <p>(3) 再発防止策によって、今後不適切な事務処理はなくなるのか</p> <p>(4) 市は今回の事件によってどのような教訓を得たのか。また、得られた教訓を今後の市政にどのように反映していくのか</p> <p>3 市内の動物被害について</p> <p>(1) 最近、耕作地における有害鳥獣被害に加え、市街地においてもハクビシンやアナグマなどの動物被害が報告されているが、市はどのような対策を行っているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	2	4 番 森 上 昌 生	<p>(2) 昨年度より有害鳥獣対策室が設けられたが、この組織の役割がどのようなもので、市民に対する周知はどのように行っているか</p> <p>(3) 以前から一般質問で野良猫に対する市の対策を問うているが、その後新たな対策は検討されているのか</p>
3	10	7 番 石 井 聡 美	<p>1 落合霊園について</p> <p>(1) 既に誰かが使用权を取得しているが墓が建っていない区画はどの程度あるのか</p> <p>(2) 墓をほかに建てるなどして、ここに墓を建てる意志がない場合の規定はあるのか</p> <p>(3) 県内には、未使用の場合に使用料の2分の1を返還するという規程を持っている自治体もある。本市でも検討してはどうか</p> <p>2 ICTを使った情報共有について</p> <p>(1) 道路維持管理のために、倒木や陥没の状況を迅速に把握できるような専用アプリを開発して全職員で活用してはどうか</p> <p>3 歩いて暮らせるまちづくりと公共交通について</p> <p>(1) 中心市街地の活性化には脱モータリゼーション的なアプローチが必要だと考えるが、市の見解を問う</p> <p>(2) 今後の超高齢化社会へ対応するために、交通税などの法定外目的税を独自に徴収し、それを使った市街地での公共交通の拡充を計画すべきではないか</p> <p>4 ボルダリングによる地域振興について</p> <p>(1) 全国には廃校を使ったボルダリング施設の整備が行われ、多くの交流人口を集めている地域がある。高梁市でも例えば旧備中中学校の体育館などに整備してはどうか</p> <p>5 新学習指導要領への対応について</p> <p>(1) 新学習指導要領には、学校のICT環境整備の必要性が初めて明記され、小学校からプログラミング教育が必修化される。本市でのICT環境整備計画について問う</p> <p>(2) 教師や教育委員会、保護者を対象にしたプログラミング教育についての勉強会や研究会を開催してはどうか</p> <p>(3) 限られた予算でICT環境を整備し、適切な教材を選ぶためにも都市部で開催されている見本市や勉強会へ積極的に人員の派遣をすべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	7	2 番 平 松 賢 司	<p>1 主要農作物種子法廃止に伴う農業への影響と市の対応について</p> <p>(1) 主要農作物種子法が廃止されたことに対する市の認識を問う</p> <p>(2) 廃止による農業者や消費者への影響について、市としてどのように捉えているのか</p> <p>(3) 市は苗、種代の助成などについて、具体的な対応、対策をすべきではないか</p> <p>(4) 市は国や県へ主要農作物種子法の復活及び農家の種子の自主的な保存、育成、活用を認めることを要請すべきではないか</p> <p>2 岡山道4車線化工事に伴う県道の安全対策について</p> <p>(1) 岡山道有漢トンネルの拡幅工事開始までに、県道栗原有漢線の改良工事が必要だと考える。市は県に対し、早急に改良要望すべきではないか</p> <p>(2) 以前、県道栗原有漢線の拡張工事で用地買収が済んでいる箇所があると聞いている。安全確保のため、この際、早急に改良を進めるよう県へ要望すべきではないか</p> <p>(3) 岡山道有漢トンネルの拡幅工事開始までに改良できない場合にどのような安全対策を市として考え、県に要望していくのか</p> <p>3 綱島梁川の顕彰について</p> <p>(1) 本市の文化行政の中で、綱島梁川をどのように位置づけているのか</p> <p>(2) 市は綱島梁川顕彰会の活動の現状をどう捉らえているのか</p> <p>(3) 綱島梁川は高梁市の歴史的な偉人であり、後世に語り継いでいくのは行政の役割ではないか</p>
5	6	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 非正規職員の処遇について</p> <p>(1) 国は働き方改革の中で雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保を求めている。自治体職場では正職員以外に多くの非正規職員が働いている。働き方改革の推進に伴う本市への影響はあるのか</p> <p>2 教員の働き方改革について</p> <p>(1) 平成29年9月議会で教員の時間外労働削減について質問し、1年が経過するが状況はどうか</p> <p>① 時間外労働の削減に向け全市的に取り組んだことはどのようなことか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	6	11 番 宮 田 好 夫	<p>② 昨年度は高梁小学校が県の業務改善加速事業の認定を受け教員が1名配置された。どのような取り組みがなされ、どのような成果があったのか</p> <p>③ 時間外労働の大きな要因として中学校の部活動のあり方が指摘されているが、どのような対策を行っているのか</p> <p>④ 取り組みを始める前に比べ、小学校、中学校での月当たりの時間外労働はどのくらい減ってきているのか</p> <p>⑤ 過労死ラインといわれる月 80 時間を超えた事例はなかったのか。あったとすれば、どのような対応を行ったのか</p> <p>⑥ 時間外労働の削減に向けた新たな取り組みは考えているのか</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>(1) 高梁市行財政改革プランについては本年2月の議会全員協議会で説明があり、4月の議会報告会で議会として市民と意見交換して多くの意見が出されている</p> <p>① 行財政改革推進本部では、今どのような内容が話されているのか</p> <p>② その内容について議会への説明は考えているのか</p> <p>③ 市民に対する説明はどう考えているのか</p> <p>④ 事務事業評価により、平成30年度から見直した事業が複数あり、歳入不足のために行ったのではと感じる。廃止・縮小する場合、市民への十分な周知が必要ではないか</p> <p>4 町内会支援制度について</p> <p>(1) ご町内振り返り奨励金の運用が急に見直された。理由は何か</p> <p>(2) 地域集会所のシロアリ被害について今年も相談があった。現状の補助は駆除のみは対象になっておらず、修繕と合わせれば駆除も補助対象となるが、実施は申請の翌年になる。事業の見直しはできないか</p>
6	1 1	5 番 石 部 誠	<p>1 市民負担がふえる行財政改革は進めるべきではないと考えるがいかがか</p> <p>(1) 市が進めようとしている行財政改革が、市民の負担増と住民福祉の増進に逆行しており見直しを求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	11	5 番 石 部 誠	<p>① ごみ収集の有料化は、自治体の固有の仕事であり市民負担を求めるべきではないと考えるがいかがか</p> <p>② こども医療費支給事業の見直しで、現在の 18 歳まで医療費を無料とする制度は、住民からの支持も多い制度であり、後退させるべきではないと考えるがいかがか</p> <p>2 過年度災害復旧工事等の未払金発生事件における再発防止策は不完全ではないか</p> <p>(1) 過年度災害復旧工事等の未払金発生事件における再発防止策が報告されたが、管理職にかかわる対策が提示されておらず問題と考える</p> <p>① 事案の概要と発生原因はどのように総括され、教訓を導き出し、再発防止策が策定されたのか</p> <p>② その後、かかわりのある業者や地域や個人との間で問題は起きていないか</p> <p>③ 管理職にかかわる対策が提示されておらず問題と考えるがいかがか</p> <p>④ 教訓を導き出し、悪習慣を断ち切り、実効ある再発防止策を求める</p> <p>3 市の進める立地適正化計画は過疎を進め周辺地域を切り捨てることにはならないか</p> <p>(1) 現在策定中の立地適正化計画が進められ、市街地への施設や企業の移動が進めば、周辺地域はより過疎が進み疲弊していくと考える。市は市民合意と周辺地域への影響をどのように考え進めているのか</p> <p>① 今回の立地適正化の説明会や市民の反応など報告を求める</p> <p>② 平成 29 年 3 月議会で、市長は「石部議員はこの問題をどのように勘違いし、根拠を示さず周辺部での影響が大きいと言われるのは不愉快です」と答弁されたが、現在も周辺部には影響がないと考えているのか見解を問う</p> <p>③ 今後の計画についてどのように認識し、今後具体的にどのように進めるのか説明を求める</p> <p>④ 全地域の市民への説明と、十分な市民合意に基づく地域や市民が元気になれる計画策定を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	3	8 番 黒 川 康 司	<p>1 立地適正化計画について</p> <p>(1) 先般、成羽地域まちづくり協議会において、市の担当課より立地適正化計画の居住誘導区域について説明を受けた。この計画は都市計画区域を基本に将来に向けて計画されたものだと思うが、この居住誘導区域を設定することでどのようなメリットがあるのか</p> <p>2 町内会支援制度について</p> <p>(1) この制度は今年度で2年目を迎えたが、昨年度中に町内会の統合はあったのか</p> <p>(2) 市内の周辺部においては、集落戸数は減り、空き家も目立ってきている。また、高齢化も非常に進み、町内会で実施していた道路（市道）の草刈などの作業が十分にできなくなってきており、支え合いについても難しいのが現状である。もっと大きな地域組織（コミュニティーなど）に向けた制度設計が必要ではないか</p> <p>3 市有財産の活用、処分について</p> <p>(1) 市有財産のうち現在では活用されなくなった建物等については、行財政改革の中で検討されていると思うが、中にはいまだに何年も放置されている物件がある。市は空き家対策に力を入れているところではあるが、市有財産についても放っておけば草刈りなどの維持管理も発生するし危険な状況にもなってくる。そうした市有財産の活用、処分についてどのように考えているのか</p> <p>4 成羽複合施設（仮称）整備について</p> <p>(1) 先般の議会全員協議会で説明のあった、成羽複合施設（仮称）の施設北側に整備するバスのロータリーについて、ロータリー内の駐車場利用者の安全管理、イベントでの施設活用を含め、敷地全体を有効に活用できていると考えているのか</p> <p>5 スクールバス運行について</p> <p>(1) スクールバスの運行について、児童などの体調により急に登校できない場合、どのような連絡体制をとっているのか</p>
8	9	15 番 川 上 博 司	<p>1 中小企業の設備投資を促す制度について</p> <p>(1) 固定資産をゼロにした場合に想定される市内企業数、固定資産税の額及びその影響についてはどのように把握しているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	9	15 番 川 上 博 司	<p>(2) 生産性向上特別措置法の成立を受け、市として積極的に国の制度の活用を推進するべきではないか</p> <p>(3) 中小企業は年率3%以上の労働生産性の向上を見込む先端設備等導入計画をつくることになっているが、その誘導策をどのように考えているか</p> <p>2 市営住宅の入居について</p> <p>(1) 民法改正により個人根保証契約に限度額の設定が必要とされることとなったことから、市営住宅入居に際して連帯保証人を確保することが今まで以上に難しくなる。生活困窮者が入れない事態が懸念されるが、市はどのように対応されるのか</p> <p>3 就学援助について</p> <p>(1) 就学援助におけるランドセルなど、新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施すべきではないか</p>
9	8	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 財政構造改革の中での公有資産の考え方について</p> <p>(1) 公共施設の現状と課題について問う</p> <p>① 高梁市の公共施設は総数で幾らあり、保有延床面積は幾らなのか</p> <p>② 公共施設としての用途廃止後に活用が図られず、未利用となっている施設や土地の現状と課題について問う</p> <p>③ 公有資産の適正な管理と有効活用の具体的な方針について問う</p> <p>(2) 成羽地域の今回の集約・複合化に伴う跡地利用の方向性について</p> <p>① 集約・複合化に伴う跡地で、現在までに跡地利用の方向性が決定している跡地はあるのか</p> <p>② 成羽地域の居住誘導区域、都市機能誘導区域内に都市公園がないが、設置について市の考え方を問う</p> <p>(3) 公共施設における緑化の必要性と方向性について問う</p> <p>2 市道、農道、林道等管理のあり方について</p> <p>(1) 道路管理における市民と行政の「協働」体制はどうなっているのか</p> <p>(2) 道路の維持管理という側面から堆肥用の落ち葉を集める活動を支援できないか。また、そういった模範となるような取り組みを広報できないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	8	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>3 中学校の部活動に高梁市学校再編推進審議会の答申をどう生かすのかについて</p> <p>(1) 市内中学校の部活動はどのように変わるのか。どのような検討がされているのか</p>
10	4	16 番 宮 田 公 人	<p>1 郡部幼稚園の休園におけるルールづけについて</p> <p>(1) 松原幼稚園は園児 4 名という内規を満たすことができず平成 30 年度から休園となっている。これに伴い、2 名の在園児は近隣の福地幼稚園に通うことを選択した。その結果、長女は松原小学校、次女は福地幼稚園という就学状況となる家庭が存在する。市内の幼稚園の園児数は減少傾向にあり、今後、行政の規則に適合しないことによる休園が増加すると考えられる。そうした中で、保護者の負担、兄弟の就学関係等を考慮した一定のルールづけについて考え方を示すこと</p> <p>2 消防庁舎の改築について</p> <p>(1) 合併以来、新庁舎の建設、成羽病院の改築、備中高梁駅の橋上改札化、複合施設としての高梁市立図書館の改築、成羽町における老人施設と保育園の複合施設建設。最近では、成羽町にホールを主体とした複合施設建設計画が進行しており、公共施設の更新・建設ラッシュにある。そうした中で、市民の安心安全に大きくかかわる消防庁舎の改築についてはほとんど議論がなされていない。消防力の強化に伴って、特殊自動車も大型化し、台数も増加している。消防庁舎の改築は急務と考えるが、改築に向けた計画について方針を示すこと</p> <p>3 ごみ処理施設の維持、更新計画について</p> <p>(1) ごみ処理施設等施設整備にかかる検討については、平成 28 年 8 月 9 日の高梁地域事務組合の全員協議会において、ごみ焼却施設の現状、ごみ処理広域化に関する県の計画、今後整理すべき検討事項について詳細説明を受けたところである。2 年が経過した現在の状況と、今後の炉の維持管理を含めた運営方針について構成団体である市の見解を示すこと</p> <p>4 職員の再雇用、再任用の現状について</p> <p>(1) 地方公務員の定年制度と再雇用、再任用について本市の現状も含め示すこと</p> <p>(2) 特定任期付職員の法的位置づけについて、本市の現状を含め示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	4	16番 宮 田 公 人	<p>5 「旧朝霧温泉ゆ・ら・ら」の活用に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 平成30年5月25日の全員協議会において、「旧朝霧温泉ゆ・ら・ら」活用に向けた民間事業者意向調査について説明がなされた。「旧朝霧温泉ゆ・ら・ら」を含めた周辺地域の立地特性を考えれば、神原スポーツ公園や大型遊具施設を備えたハイランドオアシス公園、神原荘と連携する形で、本来の機能である温泉施設としての再活用に向けた再公募の実施が妥当と考える。今回の意向調査を踏まえどのようなスケジュールで公募を実施するのか方針を示すこと</p>
11	5	1番 森 和 之	<p>1 高梁市歴史的風致維持向上計画について</p> <p>(1) 平成22年度に策定された高梁市歴史的風致維持向上計画、この9年間の市の取り組みを説明してもらいたい</p> <p>(2) この取り組みに対して、市長はどのように評価しているのか</p> <p>(3) 計画期間は平成22年度から平成31年度までとなっている。計画は継続するのか。また、計画内容の変更はあるのか</p> <p>2 松山踊りにについて</p> <p>(1) 松山踊りが岡山県の重要無形民俗文化財に指定された。文化財である以上、伝統的な芸能として踊り継ぐことが必要ではないかと考えるがどうか</p> <p>3 備中松山城について</p> <p>(1) 今年のゴールデンウィーク期間中の登城者数に変化はあったのか。登城に来られた観光客は城下町（市街地）を訪れて、経済効果をもたらしたのか</p> <p>(2) 発掘調査の行われた大池（通称血の池）は全国の城郭の中で最大の貯水池であると聞いた。現在の状況とこれからの活用を聞きたい</p> <p>(3) 近年のトレッキングブームを考えると、大松山城跡など備中松山城北側の整備も必要だと考えるがどうか</p> <p>4 水道料金の改定について</p> <p>(1) 上水道と簡易水道の割合と給水人口を問う</p> <p>(2) 今回の水道料金の改定は、なぜ必要なのか問う</p> <p>(3) 高梁市水道経営審議会から健全な水道事業の運営について（答申）が示されて1年が経過した。答申どおり平成31年4月から料金の改定はあるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	5	1 番 森 和 之	(4) 市民の多くは料金のアップに不満を感じていると考えるが、丁寧な住民への説明は行われるのか